



神山天文台マスコットキャラクター
ほしみ〜るちゃん®

Schedule 今月の開館スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 ×
				← 京都ミュージアムロード 1/24~3/17		☾
4 ×	5	6	7	8	9	10 ×
				京都ミュージアムロード 1/24~3/17		●
11 × 建国記念の日	12 × 振替休日	13	14	15	16	17 ×
				京都ミュージアムロード 1/24~3/17		☾
18 ×	19	20	21	22	23 × 天皇誕生日	24 ×
				京都ミュージアムロード 1/24~3/17		☉
25 ×	26	27	28	29		
				京都ミュージアムロード 1/24~3/17		

施設見学 9:00~16:30
土曜日は天体観望会実施日のみ 14:30~20:00

天体観望会 18:00~20:00
(定員あり/要予約)

× 休館日

☾ 月の形 (満月・新月・半月および観望会で月が見えるとき)

■ 事務室閉室日 (問い合わせ等対応不可)

施設見学

1階常設展示フロアでは「望遠鏡 × 宇宙探査」、また、3階では荒木望遠鏡 (国内私立大学最大口径の反射式望遠鏡) の見学が可能です。

天体観望会

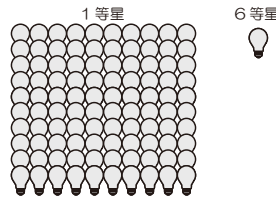
荒木望遠鏡や小型望遠鏡で天体を観察することができ、天文台専門スタッフが望遠鏡や天体について解説を行います。また、宇宙の3D映像上映会を開催します。
(厳冬期のため、3月下旬から再開予定です)

よくある質問?

観望会などでよく聞かれる質問にお答えします★

① 1等星や5等星…等級ってなに?

星の明るさを表す単位です。2000年よりも昔に、古代ギリシャの天文学者ヒッパルコスが、夜空でもっとも明るく見える星を1等星、次に明るい星を2等星…と順番に決めていきました。目で見えるいちばん暗い星が6等星です。今では、1等星と6等星の明るさの違いは100倍と決められています。



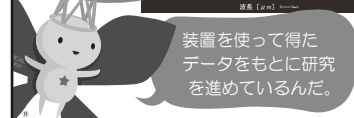
② 星の数はどのくらいあるの?

私たちの太陽系がある「天の川銀河」には、約2000億個の星があります。さらに、宇宙には天の川銀河のような星の集まりが1000億個以上もあると考えられています。2000億 × 1000億 = … 計算してみてくださいね。実際に肉眼で確認できる星は、だいたい6等星までで、その数は全天で約8600個です。しかし、街明かりなどの環境で見える星の数が減ってしまうこともあります。みなさんのお家のまわりでは何個の星が見えますか?

③ 星座の星の中で、一番明るい星は?

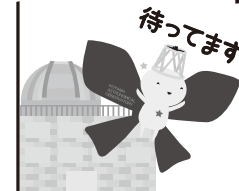
地球から見たとき、星座をつくる星の中で一番明るい星は、おおいぬ座の「シリウス」です。シリウスは-1.4等と、全部で21個ある一等星の中でもっとも明るく見える星です。2番目は今の時期、南の空低く見えるカノープス (-0.74等) ですが、地球大気の影響で、暗く、赤っぽく見えるのです (裏面参照)。また、惑星の木星や金星はシリウスよりも明るくみえることがあります。シリウスよりも西側にある木星 (-2.3等) と明るさ比べをしてみてくださいね。

研究に必要!



京都市内の博物館をめぐろう! 京都ミュージアムロード開催中!

京都市内の博物館・美術館96施設が参加する京都ミュージアムロードに神山天文台が初参加! 参加館を3か所回ってスタンプを集め、プレゼント企画に応募しましょう!



開催期間 2024年1月24日(水)~3月17日(日)

神山天文台は常設展示「反射望遠鏡 × 宇宙探査」、荒木望遠鏡の見学を行っています。(天体観望会は休止)

他施設の情報、京都ミュージアムロードについては、パンフレット、京博連 web ページ <http://www.kyohakuren.jp/news/invite/museum/> をご覧ください。

2024年 2月の星空

上旬 22 時ごろ 中旬 21 時ごろ 下旬 20 時ごろ (ステラナビゲータ 10 をもとに作図)

2024年2月見ごろの天体

★木星 (もくせい) : Jupiter

木星は東～南の空に圧倒的な輝きで目立っています。木星は太陽系最大の惑星で直径は地球の約 11 倍もあります。望遠鏡を使うと、縞模様と周りをまわる衛星のうち数個を見ることができます。縞模様の正体は、大気中に含まれるアンモニアやメタンでできた雲の模様です。木星の特徴的な模様は大赤斑があります。大赤斑は周囲に比べ温度が低いことから高気圧性の嵐と考えられており、その大きさは地球のおよそ 2-3 倍もあります。

★赤色巨星 (せきしよくきょせい) : Red giant

恒星は安定して輝く時期が長く続きますが、恒星の内部の水素を使い果たすと恒星の内部が縮み始め、その際に発生する熱によって外側のガスはさらに外へと膨張し、巨大な星になります。ガスが膨れると表面の温度が低くなるため、赤色に見えます。太陽の約 20 倍です。オリオン座のベテルギウスは赤色超巨星で、直径は太陽の約 650 倍も大きいことが観測されています。恒星の寿命が尽きようとしていて、いつ超新星爆発を起こしてもおかしくありません。

★散開星団 (さんかいせいだん) : Open cluster

おうし座のすばる (プレアデス星団・M45)、ぎょしゃ座の M36、M37、M38 が見ごろです。少しずつ集まり方の異なるぎょしゃ座の 3 つの星団も比べてみましょう。恒星は、ガスの濃いところで集団で生まれ、すばるのような、若い星たちが集まった散開星団となります。やがて、散開星団の星たちは、時間が経つと少しずつ離れていくと考えられています。

★散光星雲 (さんこうせいうん) : Diffuse nebula

オリオン座の三つ星のすぐ南に並ぶ小三つ星のうち、真ん中の天体は星ではなく散光星雲で、この中で今も次々と星が生まれています。望遠鏡を覗くと、星雲のガスと、生まれてから約 150 万年しか経っていない赤ちゃん星が台形の形に 4 個並んでいるトラペジウムが見えます。明るく輝く生まれたての星々の光が周囲のガスを照らして温めることによって、オリオン大星雲は輝いています。

東

西

北

南

- ★ 1 等星
- 2 等星
- 3 等星
- 4 等星
- ※ 星雲 星団 銀河

見えるかな？カノープス

冬のにぎやかな星たちとともに、南の空、地平線ぎりぎりのカノープスに注目してみましょう！地球大気の影響を強く受けるため、暗く赤っぽく見えますが、実際はこいぬ座のプロキオンのような白く輝く星、しかもおおいぬ座のシリウスに次いで 2 番目に明るい星です。カノープスは、日本の本州付近では南の低空にしか見えず、地平線上にある時間が短いので、南中する（真南に来て地平線から最も離れる）時刻の前後約 30 分ほどが観察チャンスになります。古代中国では「南極老人（七福神の寿老人や福祿寿の元）星」「寿星」と呼んで「一目でも見ると長生きができる」と言い伝えられています。